福田美術館
FUKUDA ART MUSEUM
SAGA ARASHIYAMA

PRESS RELEASE

2022.3
福田美術館

報道関係者各位

企画展開催のお知らせ

やっぱり京都が好き ～栖鳳、松園ら京を愛した画家たち

今も昔も多くの芸術家が愛してやまない場所、京都。
福田美術館が立地する嵐山は、千年以上前から天皇や貴族が好んだ景勝地であり「小倉山峰のもみぢ葉心あらば」と百人一首にも詠まれているように、紅葉の名所とされていました。江戸時代になると多くの桜が植えられ、桜の名所としても有名になり、京都の市中に住む円山応挙などの画家も、写生をするために度々この地に足を運びました。明治以降は京都画壇の主力メンバーである竹内栖鳳、川村曼舟、冨田渓仙らが嵐山にアトリエを構え、多くの画家が集まります。本展では円山応挙、竹内栖鳳、上村松園など、近世から近代の京都画壇の作品を中心に、京都にゆかりの絵画を展示いたします。

日　時	2022年4月23日(土)～7月3日(日) ○前期/2022.4.23～5.30 ○後期/2022.6.1～7.3 10:00～17:00（最終入館16:30）
主　催	福田美術館・京都新聞

作品数	○前期：34点　→　うち初公開10点 ○後期：31点　→　うち初公開6点 ○通期：17点　→　うち初公開2点 ○作品総数：82点

※作品点数は変わる可能性がございます

京都に生きる、京都に集う

第一章では、京都ゆかりの画家たちの作品を中心にご紹介いたします。円山応挙は京都の亀岡に生まれ、市内に移ってからは四条通界隈で活躍していました。その近隣には、伊藤若冲も居を構えていました。新しい画風の確立に挑んだ応挙・若冲の取り組みは脈々と京都の画壇に受け継がれ、明治時代に入ると西洋画や俳画をも作品に取り込もうとした竹内栖鳳や、女性として日本で最初の職業画家となった上村松園を輩出しました。画家たちは京都の随所にアトリエを構え制作に励みました。また、東京画壇の重鎮、横山大観なども京都を訪れています。

円山応挙「巌頭飛雁図」（前期展示）

竹内栖鳳「金獅図」（前期展示）

上村松園「しぐれ」（前期展示）

西村五雲「小原女」（前期展示）

京を旅する

今も昔も観光地としてメジャーな京都ですが、寺院や芸舞妓とともに、豊かな山水の風景も見所の一つ。
第二章では、洛中洛外を描いた屏風作品や、嵐山をはじめとする京都の自然を描いた風景画などを展示。絵で巡る京都の旅をお楽しみください。

下村観山「鳳凰堂」（後期展示）

池田遙邨「嵐山薫風」（前期展示）

京都に暮らせば

「京都人」と呼ばれる住人たちは、普段、購入している和菓子が創業400年以上の店のものであったり、子供の頃から参加している近所の催事が文化遺産であったりと、伝統が息づく日常生活を過ごしています。
パノラマギャラリーでは、京都で大切に伝え、守られてきたものを題材とした作品とともに、画家とのつながりについてもご紹介いたします。

松村梅叟「花うり（白川女）」
（前期展示）

休　館	毎週火曜日
料　金	＜福田美術館＞ 一般・大学生 ¥1,300（1,200）/高校生 ¥700（600）/小中学/¥400（300） 障がい者と介添人1名まで 各¥700（600） ※（　）は団体料金 ＜嵯峨嵐山文華館との二館共通券＞ 一般・大学生 ¥2,000/高校生 ¥1,000/小中学生 ¥550 障がい者と介添人1名まで 各¥1,000

担当学芸員：國永裕子
広報：中島真帆

やっぱり京都が好き　プレス用画像一覧_1

01

02

03

04

05

01
上村松園「人形遣之図」
福田美術館蔵（通期展示）
02
上村松園「和楽之図」
福田美術館蔵（後期展示）
03
竹内栖鳳「金獅子図」
福田美術館蔵（前期展示）
04
岸竹堂「大船鉾図」
福田美術館蔵（後期展示）
05
池田遙邨「嵐山薫風」
福田美術館蔵（前期展示）
※著作権あり／掲載前に要確認

やっぱり京都が好き　プレス用画像一覧_2

06

07

08

09

10

06
上村松園「しぐれ」
福田美術館蔵（前期展示）
07
西村五雲「小原女」
福田美術館蔵（前期展示）
08
川村曼舟「嵐山秋靄」
福田美術館蔵（後期展示）
09
川村曼舟「嵐山春靄」
福田美術館蔵（後期展示）
10
下村観山「鳳凰堂」
福田美術館蔵（後期展示）

やっぱり京都が好き　プレス用画像一覧_3

11

11
円山応挙「巌頭飛雁図」
福田美術館蔵（前期展示）
12
松村梅叟「神楽」
福田美術館蔵（後期展示）
13
伊藤小坡「壬生狂言」
福田美術館蔵（通期展示）
※著作権あり／掲載前に要確認
14
作者不明「洛中洛外図屏風」
福田美術館蔵（後期展示）

12

13

14

福田美術館について

美しい自然と日本美術の融和。日本文化の新たな発信拠点として

京都・嵯峨嵐山は古来歌枕でもある場所で、多くの貴族や文化人に愛され芸術家たちが優れた作品を生み出す源泉となってきました。福田美術館は「100年続く美術館」をコンセプトに、現代まで受け継がれてきた日本文化を次世代に伝え、さらなる発展へとつなぐ美術館を目指します。
オーナーである福田吉孝は京都に生まれ育ち、そこで事業を興し、今日まで続けてきたことに対し、地元の方々のご支援とこの地に恩返しがしたいという想いから、2019年10月、美術館の設立に至りました。今や日本国内だけでなく、世界中から多くの人が訪れる観光地である嵐山。その中でも渡月橋を望む大堰川（桂川）沿いの景勝地に位置し、四季折々でそれぞれに変化する風景は1000年変わらず人々を魅了してきました。この美しい自然とともに日本美術の名品を愉しんでいただくことで、嵐山が世界有数の文化発信地となることを願います。

嵐山にふさわしい、未来へむけた日本建築の形

福田美術館の建築を手掛けた安田幸一氏は、「蔵」をイメージした展示室や外の自然とのつながりを感じられる「縁側」のような廊下など、伝統的な京町家のエッセンスを踏まえつつ、これから100年のスタンダードとなるような新しい日本建築を目指しました。また、庭には大堰川に連なる水鏡のごとく嵐山を映し出す水盤が設けられており、渡月橋が最も美しく一望できるカフェからは最高の眺めを味わうことができます。

福田美術館概要

■名称：福田美術館／Fukuda Art Museum
■運営主体：一般財団法人福田美術振興財団
■住所：〒616-8385　京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16
■電話番号：075-863-0606（FAX）075-863-0607
■メールアドレス：info@fukuda-art-museum.jp
■ホームページ： https://fukuda-art-museum.jp

■敷地面積：1982㎡
■延床面積：1193.58㎡
・展示室1／151.2㎡
・展示室2／175.4 ㎡
・展示室3／64.5 ㎡）
■交通アクセス：
・JR山陰本線「嵯峨嵐山」駅下車、徒歩12分
・阪急嵐山戦「嵐山」駅下車、徒歩11分
・嵐電（京福電鉄）「嵐山」駅下車、徒歩4分

本展に関するお問い合わせ

福田美術館・嵯峨嵐山文華館 広報事務局 （ウインダム内）

TEL 03-6661-9448　FAX 03-3664-3833
Email 福田美術館：fukudamuseum@windam.co.jp
　　嵯峨嵐山文華館：samac@windam.co.jp

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町1-28-9-4F
「福田美術館」広報事務局　　担当：沼澤、多田